

環境を守り、資源を生かす

# 「シップリサイクル」シンポジウム in 室蘭

参加ご希望の方は、当日  
直接会場にお越しください  
**参加費無料**  
定員：500名

## プログラム

第一部・基調講演 18:00~18:50

「シップリサイクル問題の  
国際動向と日本の取り組み」

講師：加藤 光一氏  
(国土交通省海事局船舶産業課 国際業務室長)

第二部・座談会 19:00~20:00

加藤 光一氏  
青山 剛氏  
(NPO法人 室蘭地域再生工場理事)  
仲條 靖男氏  
(日本造船技術センター海外協力室次長)  
成瀬 健氏  
(海上技術安全研究所主任研究員)

コーディネーター  
清水 一道氏  
(室蘭工業大学ものづくり基盤センター准教授  
室蘭シップリサイクル研究会 座長)

※上記写真：寿命を終えた船がバンクワディシュの海厚に横たわる  
写真提供：(独)海上技術安全研究所



船舶解体後の砂浜。油やアスベストなどが周囲の環境に与える影響が懸念される



設備が無くシステムが整っていないため、砂浜のあちこちで煙があがる



解体され町中に散乱した部品がヤシの根元にまで押し寄せる



船舶は資材の約9割が再利用できる優良資源ともいわれている

**日時** 2008年11月20日(木)  
18:00~20:00(開場17:30)

**会場** 室蘭市市民会館 (室蘭市輪西町2丁目5-1)

お問い合わせ先 室蘭シップリサイクル研究会事務局(室蘭工業大学内) TEL:0143-46-5651

## 会場周辺MAP



主 催：室蘭工業大学、室蘭シップリサイクル研究会 [株アル・アンド・イー、(独)海上技術安全研究所、佐藤鋳工株、札幌高級鋳物株、産業振興株、新日本製鐵株、株鈴木商会、トライ・ビー・サッポロ、株日本製鋼所、(財)日本造船技術センター、函館どつく株、西富士サルベージ、北海道胆振支庁、北海道新聞室蘭支社、北海道立工業試験場、室蘭市、室蘭商工会議所、NPO法人室蘭地域再生工場、(財)室蘭テクノセンター、室蘭民報社 (五十音順)]  
後 援：国土交通省北海道運輸局、NHK室蘭放送局



日時：2008年11月20日（木）18：00～20：00（開場17：30）

会場：室蘭市市民会館（室蘭市輪西町2丁目5-1）

#### ■ごあいさつ

開発途上国の海岸では、寿命を終えた廃船が世界各地から送り込まれ人海戦術によって解体されています。廃船内にはアスベストやPCB類、燃料油などが残っており、設備が無くシステムが整っていない中での作業により、海岸地帯の水や土壌が汚染され環境を損ない、劣悪な労働環境の下に多くの命と健康が犠牲となっています。

また、船舶は資材の約9割が再利用できる優良資源とも言われており、いま、船舶のリサイクルには世界的に注目が集まっています。

日本は世界でも有数の造船・海運国です。また、私たちが暮らす室蘭は、鉄鋼、造船、PCB処理施設など環境に負荷をかけない方法で資源を生かす技術も持っています。船舶のリサイクルを通し、地球の未来のために積極的に関わり、多くの皆様と情報を共有するため、ここ室蘭でシンポジウムを開催いたします。

途上国での船の解体による環境汚染を食い止め資源を有効活用するために、私たちに何ができるのか。この催しが様々なことを考えるきっかけになるとしたら、主催者としてこれほどうれしいことはありません。本シンポジウムの開催に当たりご協力いただきました関係各位と、そしてご来場の皆さまに心から御礼を申し上げます。

主催者

## プログラム

### 第一部・基調講演 18：00～18：50

「シップリサイクル問題の国際動向と日本の取り組み」

講師：加藤光一氏（国土交通省海事局船舶産業課 国際業務室長）

（休憩10分）

### 第二部・座談会 19：00～20：00

パネリスト

加藤 光一氏（国土交通省海事局船舶産業課 国際業務室長）

青山 剛氏（NPO法人 室蘭地域再生工場理事）

仲條 靖男氏（日本造船技術センター海外協力室室長代理）

成瀬 健氏（海上技術安全研究所主任研究員）

コーディネーター

清水 一道氏（室蘭工業大学ものづくり基盤センター 准教授）  
室蘭シップリサイクル研究会 座長

主催：室蘭工業大学、室蘭シップリサイクル研究会〔株アール・アンド・イー、（独）海上技術安全研究所、佐藤鑄工株、札幌高級鑄物株、産業振興株、新日本製鐵株、株鈴木商会、  
トライ・ビー・サッポロ、株日本製鋼所、（財）日本造船技術センター、函館どつく株、株富士サルベージ、北海道新聞室蘭支社、北海道立工業試験場、室蘭港湾振興会、室蘭市、  
室蘭商工会議所、NPO法人室蘭地域再生工場、（財）室蘭テクノセンター、室蘭民報社（五十音順）]

後援：国土交通省北海道運輸局、NHK室蘭放送局



### 加藤 光一【かとう・こういち】氏

国土交通省海事局船舶産業課国際業務室長。1959(昭和34)年12月東京都生まれ。83(同58)年、東京商船大学商船学部航海学科を卒業後、運輸省(現国土交通省)に入省。96(平成8)年海上技術安全局造船課国際業務室補佐官、2000(同12)年、海上技術安全局検査測度課補佐官、02(同14)年、日本貿易振興会ロンドン・シップ・センターなどを経て08(同20)年7月から現職。



### 青山 剛【あおやま・たけし】氏

NPO法人室蘭地域再生工場理事。1977(昭和52)年、札幌市生まれ。2002年3月室蘭工業大学大学院建設システム工学科修了後、同大学助手に就任。03年4月、室蘭市議会議員に初当選、現在2期目。日本工学院北海道専門学校非常勤講師。日本建築学会、日本都市計画学会、北海道自治体学会等に所属。NPOでは、エコツアー・産業観光、水素エネルギー社会研究事業に従事。



### 仲條 靖男【なかじょう・やすお】氏

財財団法人日本造船技術センター海外協力室室長代理兼技術課長。1958(昭和33)年山口県生まれ。76(同51)年3月山口県立宇部工業高等学校機械科を卒業後、日本鋼管(株)に入社。88(同63)年3月、国際協力事業団による造船技術指導専門家としてインドネシアに赴任。89(平成元)年、(財)海外造船協力センター技術協力部を経て、2004(同16)年、組織統合により(財)日本造船技術センター勤務。07(同19)年から現職。主に政府開発援助(ODA)による途上国の船舶・造船関係のプロジェクトにコンサルタントとして従事している。



### 成瀬 健【なるせ・たけし】氏

独立行政法人海上技術安全研究所 構造・材料部門 生産技術研究グループ主任研究員。1967(昭和42)年2月静岡県生まれ。92(平成4)年3月、北海道大学大学院工学研究科機械工学専攻修士課程を修了後、95(平成7)年4月、運輸省船舶技術研究所(現 独立行政法人海上技術安全研究所)に入所。2003(同15)年4月から同主任研究員を務め、主に船舶の検査技術およびシブプリサイクルに関する研究に従事。



### 清水 一道【しみず・かずみち】氏

室蘭工業大学准教授。1961(昭和36)年大分県生まれ。大分工業高等専門学校、北海道大学工学部を卒業。工学博士。新日本製鐵、大分高専助教授を経て、2004(平成16)年4月から現職。専門は機械材料学、トライボロジー(摩擦学)、設計工学、材料力学。室蘭工業大学ものづくり基盤センター(クレモ)の地域連携部門責任者。室蘭シブプリサイクル研究会の座長を務め、船舶のリサイクルシステム構築を目指す。